

我が国初の待望の日本語版
好評発売中

薬剤師による DUR(薬剤使用評価)と カウンセリング

薬物療法の向上を目指して

OBRA '90 DUR&COUNSELING Challenges for Pharmacy

著者 Purdue Univ. Jerome W. Blank, PhD
Michael T. Rupp, PhD
Dennis J. McCallian, PharmD

監訳 関東通信病院薬剤部部長 小宅 正
帝京大学薬学部医薬情報室 堀 美智子

監訳者の言葉

国民の医薬品の安全性に対する要望は極めて強い。適正使用の確保には、医薬品に関する情報が患者に適切に提供され、十分理解されることが必須条件である。このような現状を踏まえ、薬剤師にとり役立つ参考書が必要とかねてから考えていた。

本書はDURの実践およびカウンセリングスキルの習得を目的として、米国で作成された薬剤師向けビデオテキストを翻訳し、日本の薬剤師向けに解説および資料を加えたものである。

DUR(薬剤使用評価)の目的

処方せんが適切であるか、医学的に必要か、望ましくない効果(副作用, 相互作用)はないかを
確認することにより、薬物療法の質を向上させることである。

●集合研修会等の教材として最適

実際の模擬薬局を想定して研修が可能

●テキストでは日米を比較解説し、わかりやすい

実際の保険薬局実例や資料を随所に折り込む解説

●シミュレーション方式でより実践的

患者情報収集及びカウンセリングに関する7つの具
体例

●日本薬剤師研修センターの 研修認定薬剤師制度の教材

研修認定の申請用に、巻末に「自己研修報告書」及び
「グループ研修報告書」を添付。例えば、自己研修時間
が4時間で1単位、グループ研修が2時間で1単位。



推薦

社団法人 日本薬剤師会副会長 吉本 與一
社団法人 日本病院薬剤師会会長 齋藤 侑也

発売元 株式会社ヘスコインターナショナル

第1章 DURとは?

- DUR ●OBRA '90とDUR

第2章 プロスペクティブDUR

プロスペクティブDURとは?

患者プロフィール

- I. 患者プロフィールの作成
- II. 患者データベース：構築初期段階での情報収集
 - 患者情報収集の悪い例 SCENARIO-1
 - 患者情報収集の良い例 SCENARIO-2
薬剤師が行う場合
 - 患者情報収集の良い例 SCENARIO-3
助手が協力して薬剤師が行う場合
- III. 患者プロフィールの統合集積

薬剤師による問題解決

- I. 処方せんの不備
- II. 問題解決のプロセス
 1. 第1段階：問題の認識
 2. 第2段階：問題の明確化
 3. 第3段階：問題解決への介入
 4. 第4段階：記録
 - 処方せんの記載誤りに対する、
プロセスに基づいた問題解決例 SCENARIO-4
 - 処方せんの記載漏れに対する、
プロセスに基づいた問題解決例 SCENARIO-5

第3章 患者カウンセリング

DURにおける患者カウンセリングの意義

患者カウンセリング

- I. カウンセリングの内容
- II. カウンセリング方法の具体例
 1. Interactive Technique
 - 初回調剤時のカウンセリングで、服薬に関する
患者の理解を確認していく例 SCENARIO-6
 2. “Show & Tell” Interactive Technique
 - refill時のカウンセリングで、服薬に関する
患者の理解を確認していく例 SCENARIO-7
- III. 患者固有の特性にあったカウンセリング
- IV. 薬剤師と患者の関係

おわりに

REFERENCES

資料

自己研修報告書

グループ研修報告書